

民法改正案について質問

衆院本会議 本村議員

日本共産党の本村伸子議員は1日の衆院本会議で民法改正案について質問しました。

本村氏は、女性の再婚禁止規定、「嫡出推定」の規定、子どもに対する「懲戒権」などについて質問。再婚禁止期間の規定は、ジェンダー平等の見地から当然廃止されるべきと述べました。また、選択的夫婦別姓について、なぜ、いまだに実現していないのか、同制度に反対してきた統一協会と政府・自民党の癒着が原因ではないか、統一協会との「関係を断つ」というなら、選択的夫婦別姓を前に進めるべきだと強調しました。

の実施を指示し、徹底的なハラスメントの実態把握と事実究明に努めている」と答えました。

本村議員が法務委で質問

本村伸子衆院議員は10月26日、同28日、11月2日と連続して法務委員会で質問に立ち、統一協会問題や司法修習生への経済的支援、選択的夫婦別姓問題についてただしました。

26日の質問では、統一協会や関係団体の「組織性」「悪質性」「継続性」は、刑事裁判でも民事裁判でも明らか

統一協会問題、土地利用規制法ただす 井上参院議員 内閣委

井上さとし参院議員は今国会から所属する内閣委員会で1日、質問に立ち、統一協会問題、土地利用規制法を取り上げました。

統一協会が反社会的行動を続けながら協会本部への警察の捜査が行われなかったこと、背景に「政治の力」があつたという指摘に関し、第二次安倍政権以降の国家公安委員長長のほとんどが統一協会との関係が報道されていると指摘。「こうした国家公安委員長の姿勢が、『政治の力』として捜査に影響を及ぼしたのではないか。検証し明らかにすべきだ」と谷国家公安委員長に迫りました。

「調査は適切。調査の必要なし」というばかりでした。土地利用規制法については、全面施行に先だち決められた基本方針について多くの懸念が出され、愛知・岐阜の平和委員会のアンケート

でも住民説明会を求める声が寄せられていることを示して迫りましたが、高市大臣は「ホームページで周知している」との答えるのみ。

さらに仙台高裁でプライバシー侵害の調査をしていると判決を受けながら反省しない自衛隊情報保全隊への情報提供依頼や情報共有をやめよと求めると「自衛隊に提供を依頼することはない」と述べつつ、情報共有は否定せず。

思想・信条を含めた情報が集められる懸念は強まるばかり。区域指定の中止法律の廃止を求めました。



浜田靖一防衛相は「極めて深刻な事案であり誠に遺憾、速やかに懲戒処分を実施する」とし、ハラスメント根絶に向けて「相談の対応状況の緊急点検や特別防衛監察

を実施する」とし、ハラスメント根絶に向けて「相談の対応状況の緊急点検や特別防衛監察

を実施する」とし、ハラスメント根絶に向けて「相談の対応状況の緊急点検や特別防衛監察

希望ある政治へ 日本共産党街頭演説

志位和夫

党中央委員長
衆院議員
が話します

11月12日

党県委員会ホームページからYouTube配信!
スマホ下のQRコードから接続

午後1時30分
静岡駅南口

午後3時30分
浜松駅北口

統一協会、物価高騰
憲法・軍拡...
スバリ語ります
お問い合わせ
お聞きください!

共に歩こう

日本共産党 25歳
吉田あやか

● 県議選三重・津市区の候補者に、吉田あやか(紋華)さん

党三重県委員会は1日、来年4月の県議選・津市区(定数7)に新人の吉田あやかさん(25)を擁立すると発表。前回失った同区での議席回復を目指します。吉田さんは三重大学卒、看護師として病院勤務を経て現在党県ジェンダー平等対策委員。